

## 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

### 地域密着型サービスの自己評価項目構成

項目	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
<b>合計</b>	<b>100</b>

### 記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。

また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

### 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目( 1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目( 88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名  
(ユニット名) ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ  
たんぼぼ

所在地  
(県・市町村名) 鹿児島県始良郡蒲生町下久徳1251

記入者名  
(管理者) 本田 節子

記入日 平成 20 年 7 月 1 日

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ  
 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日々の生活の中に地域に関わるように支援、関係が保てるように理念をつくっています。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日頃から理念の中の安心して自分らしく暮らせるように、個々の入居者のケアについてミーティング等で確認しあうようにしています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	訪問者やご家族の面会時等を利用し理念の再確認をしている。「便り」(年2回)の発行をし各地区の民生委員の方々や地域に配布し取り組みに理解や協力を得るようにしています。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地区の行事(ゲートボール大会、運動会、あじさいサロン)への参加を積極的に出席、又、回覧板をまわしていただいたり、近隣の方々と挨拶などするように努めています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区総会や地域で行われる催し(サロンや蒲生市)、地区運動会・グランドゴルフ等の地域活動にも参加をしています。		地区の行事やサロン等地域の方からの声かけもあり、今後も参加し地域交流に努めたいと考えています。

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	消防署による救急救命についての体験を、地域の方々の参加もしていただいたり、近隣施設の研修会の声かけもあり参加している。又、中学生の体験学習・高校生の実習やボランティアの受け入れも行っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行い、ミーティングで報告し、改善に向けて具体案や検討を行うようにしています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の運営推進会議で取り上げられた事項について、その経過を報告。メンバーからの質問・意見について話し合い回答、改善に向けて検討しています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の職員には、折に触れ事業所での困りごとや改善・サービス等の取り組みなど相談をしています。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護について必要な方について、役場や包括支援センター等に相談支援に努めた。他の利用者や家族等については、まだその必要性がなかったため、具体的な情報提供等は行ってはいないですが今後必要性があれば活用できるように支援に努めます。		利用者や家族について、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業について、対応が必要な場合随時、説明アドバイスを行いながら支援に努めたいと思います。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内では、虐待など見受けられない。ミーティング等での確認・ベッド柵の利用について再認識するようにしています。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>重度化や終末期などの対応は、主治医との連携をかね、家族と相談、利用者本人の状態を確認しながらご家族様の同意を得るようにしています。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>これまで同様、GH会議や他のミーティングの機会を利用、広く職員の意見が聴けるように努力、ケアに反映できるように努めたいとおもいます。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		<p>利用者と職員の馴染みの関係づくりには、日頃から努力をしており異動や離職がやむを得ない場合も、なるべく利用者、ご家族様には迷惑がかからないように、コミュニケーションを図るように努力しています。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている	事業所外で開催される研修にはなるべく多くの職員が参加できるように声かけを行っている。又、ミーティングや回覧で発表できるようにその機会をつくっている。又、資格取得に向けた支援に努めています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の事業所との交流の機会を持ち、日々のサービスや疑問点など相談。GH連絡協議会の研修会に参加、事例検討を通しサービスの質の向上に努めています。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ケアや同じケア感について一人で悩まないように、日常的に職員の疲労やストレスについて聞いたり話し合ったりする機会を作っています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の健康状態や疲労等への配慮をし、勤務条件等の意見も取り入れたりしている。向上心を持って、意欲的に働けるように支援しています。		これからの取り組みとして、日常のケアの疑問点やヒヤリハットなどの事実に基づくケアのみかえりや各職員が取り組みたい内容の提案や議題を決めて研修や学習の機会を作っていきたいと思います。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	サービスの利用について相談があった時、ご本人に会って心身の状況をご家族からも聞き、ご本人の思いや不安など受け止め安心していただけるような関係づくりができるように努めています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族やご本人の状況について話し合う機会を設け、不安や困っておられること、これから何を望んでおられるかなど聞く機会を作るように努めています。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時にご本人の様子、状況を聞き、ご家族の意向などを確認、これまでの経緯についてもゆっくり聞くようにしています。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気や徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用に当たっては、ご本人が判断できない場合、ご家族に来ていただいて、スタッフの状況やホームの雰囲気を見ていただき、十分に納得していただいた上で利用していただけるように配慮をしています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご本人の思いや苦しみ、不安、喜びなどを知ることや、悩みなどを聞くようにし、お互いに共感できる話題づくりなどで支え合う関係づくりに努めています。</p>		<p>利用者の思いを受け止め、普段話せない思いや不安、喜びも一緒に感じていけるように、お互いが協働しながら生活できるようにしていきたいと思ひます。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の面会時や電話等のやり取りの中で、日々の暮らしの出来事などを伝えご本人を支えるためにご家族と同じような思いで支援していることを伝えていきます。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>面会時には、ご家族にご本人のことをよく聞いたり、ご家族との会話も多く日常生活状態などもご本人を交えて話したりしています。</p>		<p>ホームを利用されながら、やはりご本人はご家族の面会や支援を期待しておられる部分も見受けられる時もあり、さらにご家族とご本人への関係がもっと支援できるようにしていきたいと思ひます。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人が馴染んでおられたことについて支援しているが、ご家族も共に、馴染みの関係が途切れないように協力していただき、継続的な交流ができています。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者の性格や日常の関係について、全ての職員が共有できるようにしている。又、心身の状態や気分・感情の変化で孤立されないように注意深く見守るようにしています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスを終了されたご家族とも、継続して残っておられる方の話題などお話しする機会やお付き合いができるようにしています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で何をしたいか、どのように暮らしたいかを聞くようにしている。表現がしづらい方も、ご家族と相談したりしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に当たってご家族やご本人からの情報を頂き、また、面会時や日々の会話の中で話題にしたり、ご家族から情報を得るようにしています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの暮らし方や、睡眠、食事摂取、排泄について職員は常に観察・記録に残し情報交換に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見や意向など聴いたり、アセスメントやモニタリングに関しても職員全員で意見交換や日々の関わりなどの中から、その方に合わせた介護計画を作成するように努めています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月ごとに見直しを行い、ご本人やご家族の要望に添えるように作成、状態が変化した場合には、終了する前であっても検討見直しを行っています。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の関わりの中で何をしたいか、どのように支援したらよいかなどケアに対する気付きなど話し合ったり、ご本人の言葉をそのままケア記録に記入、全職員が情報を共有できるようにしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の要望に応じて、重度化した場合や終末期の入院の回避など、医療連携(主治医に相談)を活かし臨機応変に対応するように努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者様が安心して暮らし続けられるように、民生委員の方々や消防、警察の方、ボランティアへの協力を得るようにしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人の健康上の理由で、ご家族の了解を得ながら、特別にマッサージ師の支援を受けたり、外出の機会のない方に特別に理由をつけて外出するなど、その人らしく暮らせるように配慮したりしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の参加をいただいたり、入居者の相談・支援に関する情報交換や協力関係を築いている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望するかかりつけ医の定期的な受診の継続やご家族の同行不可能時や緊急性のある場合は、職員が代行するようしており、ご家族には、受診報告等も行っている。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい専門医の研修等を利用し、ご本人の状態についてご家族様と相談、専門医へうつや認知についての相談、指示や助言をいただきました。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しており、常に利用者様の状態変化に応じて、気軽に相談、各主治医との連携も図れるようにしています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、ご本人の情報提供を行い、医療機関との連携が図れるように努力をし、ご家族とも情報交換を行うようにしています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対しては、入所時に看取りの説明を行い、ご本人やご家族の意向など、繰り返し話し合ったり、主治医との連携の下、十分納得の体制で対応できるようにしている。状態変化等については、早めの情報交換等を行っています。		重度化や終末期のあり方、看取りについては非常に大事なことであり、ご家族の意向など、全職員も把握できるように努力し、主治医との連携はもとより、十分納得できる状態で支援できるように努めたいと思います。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人の気持ちを大事にご家族様の意向を踏まえ、安心していただけるようにしている。又、その場面や急変時には常にすぐに対応していただけるように医療機関と密に連携を図り、対応しています。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設に移られた場合、ケアプランや支援の状況、その方の習慣などの情報提供をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中に気になる点や利用者の暴言、状態変化で職員も苦慮する場面もあるが、プライバシーや個人情報の取り扱いには一人ひとりに気づかいをしながら対応をしています。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入浴や散歩など、利用者一人ひとりに合わせて声かけを行い、利用者が自分で決める場面をつくっています。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れの中で、利用者の状態や体調に配慮しながら対応しています。	誕生会は二ヶ月に1回、全体で行っていますが、ユニットの中で利用者個人の誕生日にその人だけの誕生会を祝ってあげられるようにしたいと考えています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の着替えはご本人が選ばれたり、職員は見守りや支援が必要な時には手伝うようにしている。理容・美容はご本人の行きつけがあったり、ご家族の支援で外出の機会にもなり気分転換もできている。又、髭剃りのこえかけ等、身綺麗にして過ごされるように支援しています。	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは一応併設側よりあるが、たまにはメニューにとらわれず変更したりしている。食材の下ごしらえなどできるところは利用者の方に手伝っていただきながら準備している。	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好については特に限定するものはなく、職員は利用者の意向を酌むようにしているが、特に利用者側からの要求などみられない。	

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間や習慣、トイレに向かわれる行動などを把握し、それぞれに誘導や見守りを行っています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、ご本人の意向に合わせたり、拒まれる方に対しては、持ち前の温泉源を利用した施設であることをアピールしたり、気の合ったスタッフが声をかけ、1対1の対応とチームプレイで支援や利用者の希望を確認し入っただいています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの体調、表情や状態に合わせて休憩をとっていただいたり、生活習慣や状態を観察、職員間でも前日や前夜などの情報を共有しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご自分の役割を上手く分けられる人、まったく興味を示されない方、それぞれの持分をスタッフは共有し声かけを行っています。		スタッフの声かけに意欲的な表情を見せられない方にも、もっと張り合いのある生活の支援ができるように努力と工夫をしていきたいとおもいます。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大部分の方が金銭の管理や日常の出納が難しくなっていることも事実であるが、金銭管理のできる方は、ご家族の協力を得て少額を所持していただいている人もおられます。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関脇の花壇を眺めながら外気浴していただいたり、車椅子での散歩の声かけや、ご家族様への外出の機会を確保していただくように声かけしたりして支援を行っています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の協力もあり、ご自分の家に帰られたり、家族の方との食事の機会や法事・墓参りなどしていただいたりしています。		特に外出の機会の少ない方など、もう少し外出の機会を作って差し上げたい。それぞれのペースに合わせた支援と工夫を考えていきたいと思います。

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話や手紙は楽しみの一つであり、居室でご本人が直接お話されたり、プライバシーにも配慮しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や馴染みの方々の来所時等、何時も笑顔で対応し、何でも話しやすい雰囲気作りを心掛けている。職員も気軽に声かけができるように努めています。		利用者様にとってグループホームは家であり、ご家族にとっては親の家として気軽に訪問できるように今後も職員の対応と雰囲気づくりに工夫していききたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全員が身体拘束について理解できるように勉強会を実施、GH会議において、職員の共通認識を持つようになっています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の方が外に出て行かれるような雰囲気とその行動や言動などから、職員間でその情報を共有し見守りや連携プレーを図りながら、さりげなく一緒について行ったり自由な暮らしができるように支援しています。		利用者様の雰囲気など職員間でその情報をいつも共有し、外出のくせや傾向を把握し、見守りや声かけなどを行っていきたいとおもっています。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は必ず見守りのできる位置にスタッフがいるようにしている。夜間は、数時間毎に利用者の様子を確認し、起きられた時の対応ができるようにしています。		常に安全と安心の暮らしができるように見守りをしています。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	すべてを取り除くことはなく、利用者様の状況によっては注意を促し、保管管理の必要なものに分けています。		保管や管理には注意をしているが、洗剤等日々使用するもので、普段から安全と思いがちなものに危険要因があることを常に職員間でも意識した対応を行っていききたいと思っています。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者一人ひとりの個性や行動を見守り、予測される危険を検討。事故も未然に防げるように声かけや見守りをしている。万が一事故やヒヤリの場合、原因の今後の予防策や家族への報告を行っています。		今後も利用者の行動パターンの把握、見守りや安全確保・家族との連携もこれまでどおり継続して支援して行きたいと考えます。

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>毎年、消防署の協力を得て救急救命(救急手当・蘇生術の研修)を実施し、全ての職員が対応できるようにしています。又利用者様の急変時や事故発生に備え応急手当や初期対応については、勉強会を行っています。</p>	<p>運営推進会議の一環として消防による心肺蘇生の応急手当の講習をして、実践練習をさせていただき地域の方も身近に、救急法の勉強ができたと言っていました。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て避難訓練、消火器の取り扱いを行い、地域の協力体制については、運営推進会議で協力をよびかけています。また、ろうけん合同の避難・消化訓練もあり消防署の指導をいただきました。</p>	<p>利用者様も重度化してきたり認知的な面でハードであり、常に安全を視野にいれ、全体訓練はしているが、個別的な訓練で利用者様がどのような動きをされるか今後の課題として実施してみたい。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>一人ひとりのリスクについては、日常生活状態やヒヤリハット部分等でも起こりえるリスクの再確認など、ご家族にも説明、又その対応も職員で話し合っています。</p>	<p>いろいろな場面で起こりうるリスクなど、個別的に見直ししながら、利用者様の安全を確保していかなければならないと思っています。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>職員は、利用者の状態や状況を把握し、食欲、顔色等の様子観察を行い変化に気づいた時には職員間で情報の共有、看護師、主治医への連携を図り対応にあたっています。</p>	<p>今後も早期に状態変化等の発見、Drとの連携、又情報を共有して利用者様の健康管理に留意していきたい。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ご家族の面会時等を利用し服薬の変更や常時服薬の説明など行っている。又、服薬拒否や自立できない方には服薬の支援を行い、ご本人の状態変化時は、記録をとり、職員間で協議し主治医にも相談できるようにしています。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排便チェックや排便の様子確認、個別対応、繊維質の多い食材など取り入れています。また、在総時主治医への相談を行っています。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>歯磨きの声かけや就寝前は義歯の洗浄、拒否や声かけの難しい利用者には、その気持ちを配慮しつつ、その方に応じた歯磨きの手伝いをしています。</p>	<p>歯磨きの重要性を意識し拒否の方へのコミュニケーションを図り、親しみのある関係で受け入れられるよう取り組み快くできるように今後も支援していきたい。毎日に確実にできない方に対して、個別的に工夫と支援に努めたい。</p>

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、状態に変化がある場合等の情報交換を職員全員が共有しています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	事業所内で起こりえる感染症について、細かくマニュアルを作成し予防に努めている。発病の危険を予測し早期発見、早期対応に努め、利用者の家族にも同意を頂いたり、職員もインフルエンザの予防接種を受けています。		感染症については、利用者の健康管理に心配りをし、その都度安全で安心できるように支援していきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫の点検、掃除、食材は鮮度や状態を確認し早めに調理、過熱して冷凍保存や献立の変更で使い切ったりし、冷蔵庫、冷凍庫の整理や処分、点検は頻繁に行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にベンチがあり、時にはテーブルを出してお茶など頂いたり、玄関周辺には花を認識できるように花壇の整理、出入り口には、物を置かないようにしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは何時も季節感を取り入れていただけるように季節の花を飾ったり、頻繁な配置換えなどなく、ゆっくりと落ち着いていただけるようにしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子やソファなどそれぞれの居場所がすでに決まっており、利用者様同士でその場所を確保しておられます。		

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の状況に応じ、写真を飾ったり、ご家族に相談し、馴染みのものを持ち込んでいただいたりしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気との温度差など利用者の状況や本人の訴えに対して様子をみながら調整をしている。冷暖房を利用、温度調節もこまめに行い空気のおどみがないように換気にも気配りしています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人の活動性を維持する為、その状況に応じて車椅子のフットレスの調整や体調や状況に合わせ、車椅子利用に変更したり、できるだけ、身体機能の状態に合わせた生活ができるように配慮しています。		床に水をこぼされたり、トイレ利用時に床を濡らされたら速やかに床に清掃を行い、転倒の予防と環境の整備に心掛けています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	不安や身体状況などご本人が口にされる時など、その状況にあわせて、その都度職員全員で話し合い、ご本人の不安を取り除くようにしています。		不安の訴えのある方など職員は傾聴し、少しでも安心されるような対応と言葉かけを続けていきたいと思ひます。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にベンチを置いて、花壇の花を見たり、外気浴を楽しんでいただいています。		玄関口の花壇やベンチはいつも利用者の憩いの場であり、いつも花など植えて心のケアに努めたいと思ひます。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

鹿児島県 ろうけん大楠 グループホームたんぼぼ

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人ひとりの個性を大切に、日常生活を無理なく穏やかに過ごしていただき、「今何が必要か、何を求められているか」を見極めて支援していきたい。